※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　[学]総合実業科

教科	[学]総合実業	科目	(学)色彩演習	単位数	２単位	年次	2･3年次
使用教科書	なし						
副教材等	色彩検定公式テキスト３級編(公益社団法人色彩検定協会)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・色彩検定３級程度の知識を座学・実技を通して学習する。
・道具の正しい使い方、絵具の表現技術を学習する。
・色彩心理や色彩構成、色の対比効果などを学習する。

２　学習の到達目標

⑴作品制作時に使用する道具の正しい使い方と着色技術を習得する。

⑵色彩心理や色彩構成、色の対比効果などを効果的に表現できる。

⑶配色について学習し、今後の学校生活（体育祭や文化祭のパネル等)に活かせる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・定期考査 ・単語調べ ・授業プリント ・作品	・定期考査 ・単語テスト ・作品	・振り返り ・授業態度 ・提出物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	色の三属性　心理効果	・三属性について (色相・明度・彩度) ・色彩心理について (軽重感・寒暖感など)	a:三属性・色彩心理についての知識を身につけている。 b:指定された表現法で作品を仕上げることができている。 正しく道具を使って作品制作を行えている。 c:主体的・積極的に授業に取り組めている。 毎時間の振り返りを行えているか。	・定期考査 ・単語調べ ・授業プリント ・作品	・定期考査 ・単語テスト ・作品	・振り返り ・授業態度 ・提出物
二学期	色の対比効果　色陰現象	・対比効果について (明度対比・補色対比など) ・色陰現象について	a:対比効果・色陰現象についての知識を身につけている。 b:指定された表現法で作品を仕上げることができている。 正しく道具を使って作品制作を行えている。 c:主体的・積極的に授業に取り組めている。 毎時間の振り返りを行えているか。	・定期考査 ・単語調べ ・授業プリント ・作品	・定期考査 ・単語テスト ・作品	・振り返り ・授業態度 ・提出物
三学期	配色	・配色について (色相を手掛かりにした配色、トーンを手掛かりにした配色)	a:対比効果・色陰現象についての知識を身につけている。 b:指定された表現法で作品を仕上げることができている。 正しく道具を使って作品制作を行えている。 c:主体的・積極的に授業に取り組めている。 毎時間の振り返りを行えているか。	・定期考査 ・単語調べ ・授業プリント ・作品	・定期考査 ・単語テスト ・作品	・振り返り ・授業態度 ・提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度